

静岡県少子化対策に関する県民意識調査結果

静岡県
令和元年11月

目次

- 1-1 調査の概要
- 2-1 少子化が社会に与える影響に関する意識
- 3-1 結婚する意思
- 3-2 結婚したい年齢
- 3-3 結婚・独身の良い点に対する考え方
- 3-4 結婚生活の良い点
- 3-5 独身生活の良い点
- 3-6 独身にとどまっている理由(男性)
- 3-7 独身にとどまっている理由(女性)
- 4-1 希望するライフコース
- 4-2 女性における結婚、妊娠・出産、育児による退職状況
- 4-3 職場に求める出産・子育て支援の制度と実際に利用できる制度
- 5-1 希望子ども数
- 5-2 理想子ども数・予定子ども数
- 5-3 予定子ども数が理想を下回る理由(20～34歳)
- 5-4 予定子ども数が理想を下回る理由(35～49歳)
- 5-5 諦める子ども数別の予定子ども数が理想を下回る理由
- 5-6 子どもをほしいと思う理由
- 6-1 子育ての相談や子どもを世話してくれる人の有無
- 6-2 子育ての相談や子どもを世話してくれる人
- 6-3 子育てに関する不安感・負担感
- 6-4 子育てに関する不安感・負担感の理由
- 6-5 子育て支援施策として重要と思う施策
- 7-1 全国調査との比較①～②

1-1 調査の概要

有効回答数及び有効回答率は、前回調査とほぼ同じ水準

(1) 調査の目的

この調査は、国勢調査、人口動態統計その他の公的統計では把握できない子どもを持つことや結婚に対する意識及び子育て環境に関する実情等を調査し、全国との比較を行うことにより、本県の特徴を明らかにし、「第2期ふじさんっこ応援プラン」策定の基礎資料を得ることを目的としている。

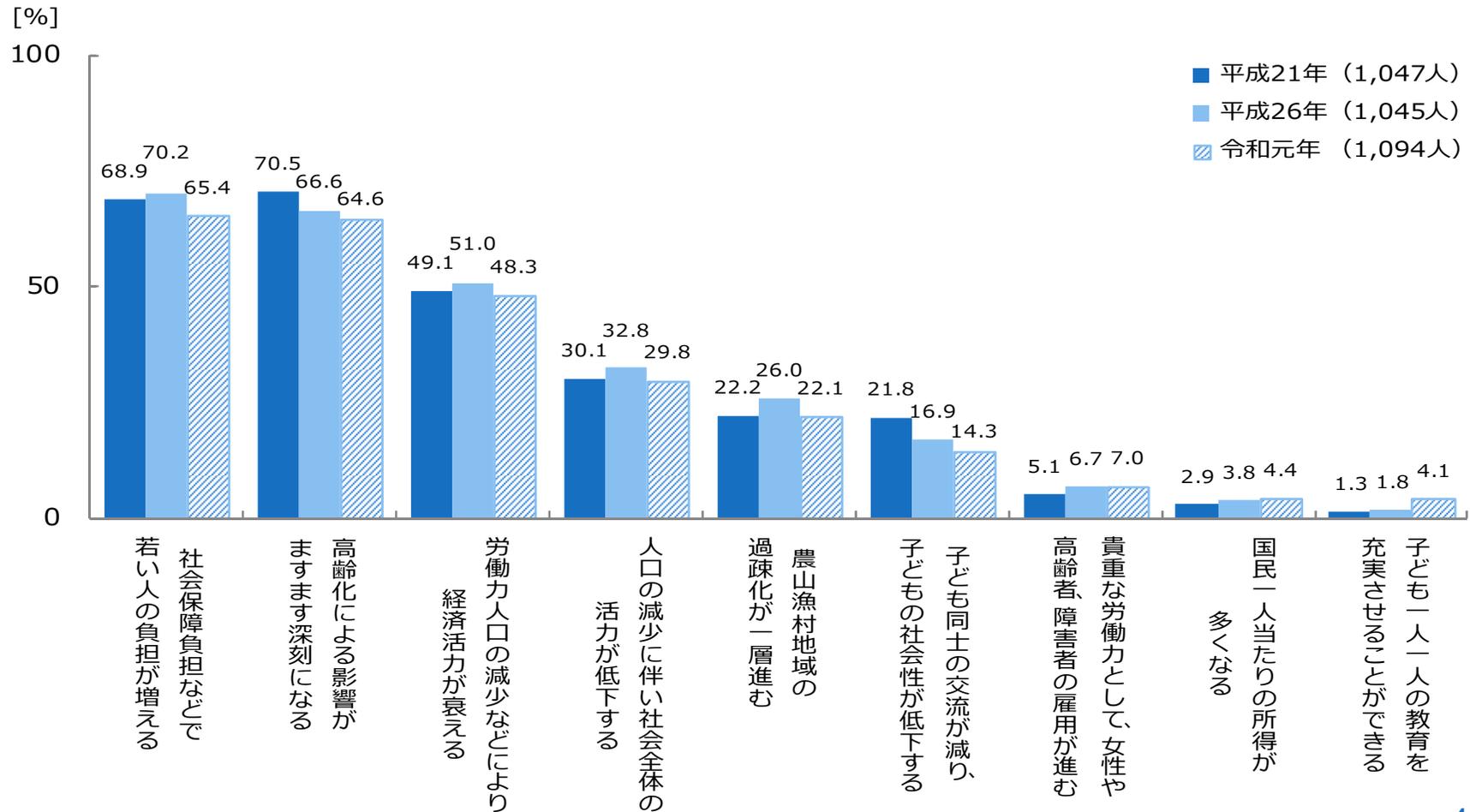
また、しずおか次世代育成プラン策定時の平成21年、ふじさんっこ応援プラン策定時の平成26年に実施した同様の調査との経年変化について比較する。

(2) 調査の概要

項目	内容
調査対象	静岡県に在住する20歳から49歳までの男女
抽出方法	静岡県全域を母集団とし、選挙人名簿から層化無作為抽出
抽出地域	静岡県内の全市町
調査客体数	3,000人(前回:3,000人)
調査方法	郵送調査法(郵送配布—郵送回収)
調査期間	令和元年7月1日～7月24日(前回:平成26年8月1日～8月14日)
有効回答数	1,094票(前回:1,045票)
有効回答率	36.5%(前回:34.8%)

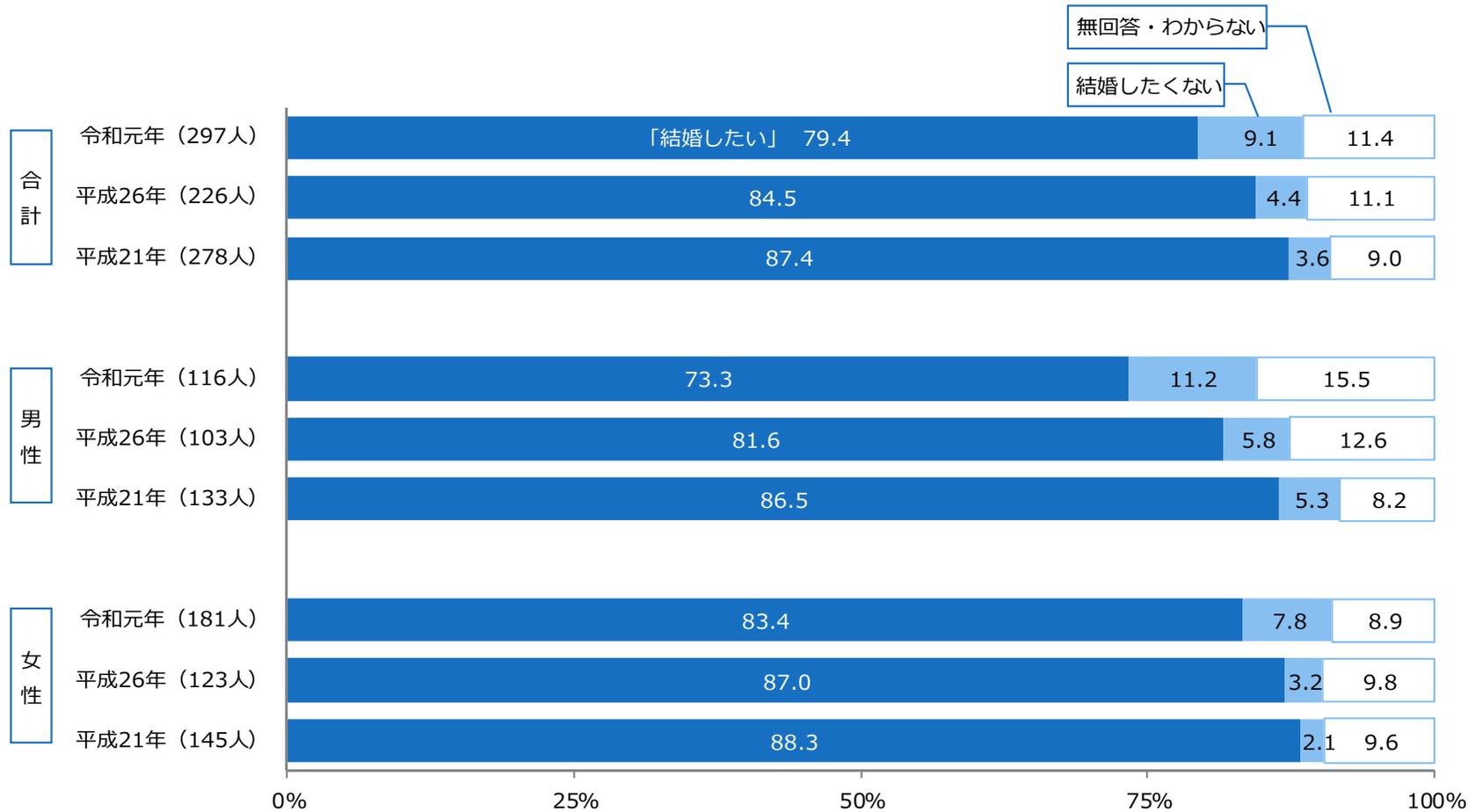
2-1 少子化が社会に与える影響に関する意識

少子化の影響として「社会保障負担などで若い人の負担が増える」が最多



3-1 結婚する意思

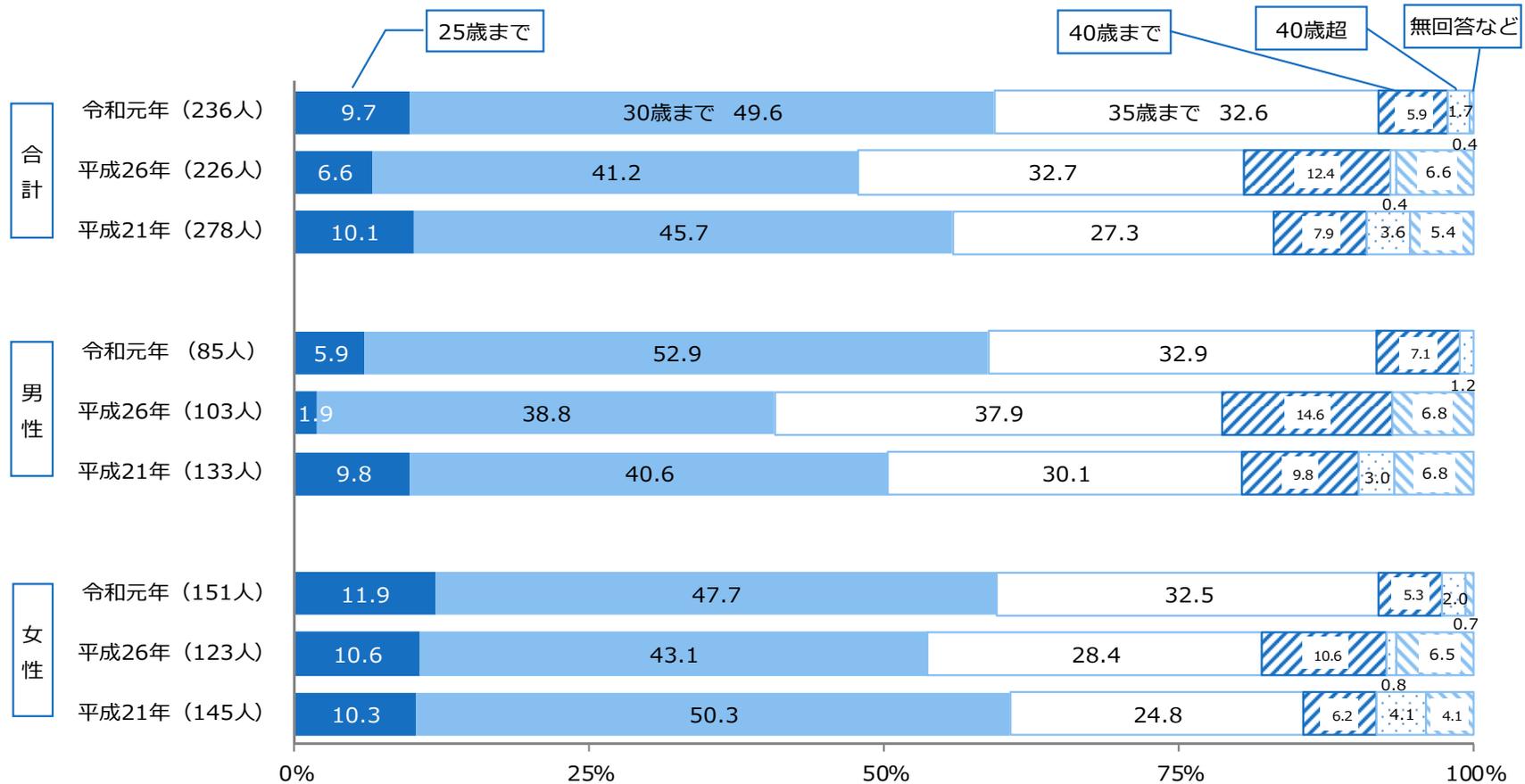
結婚する意思をもつ独身者は、約8割で推移



※集計対象: 20~34歳の独身者

3-2 結婚したい年齢

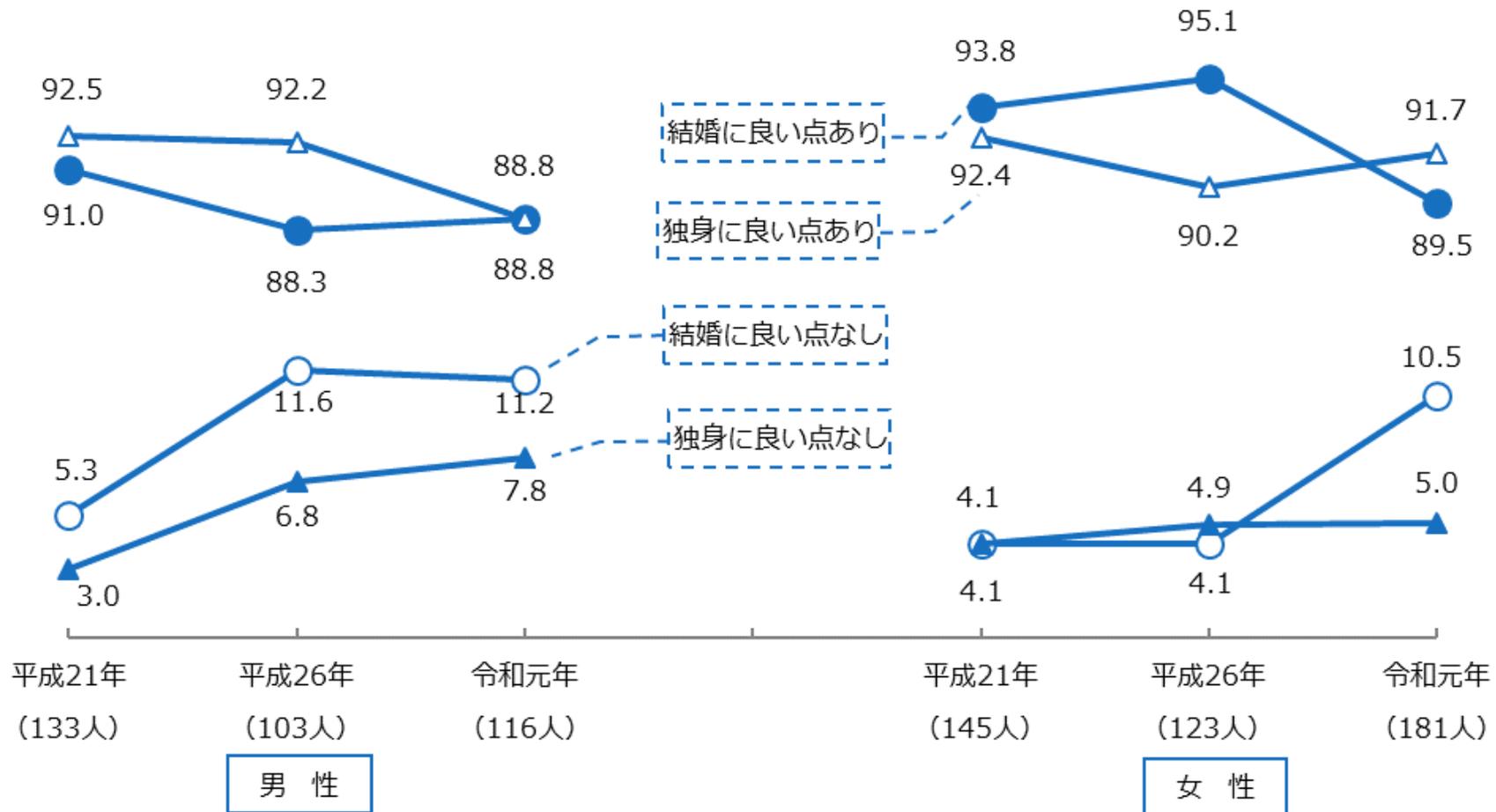
男性・女性ともに「30歳まで」が約5割で最多



※集計対象: 20~34歳の独身者

3-3 結婚・独身の良い点に対する考え方

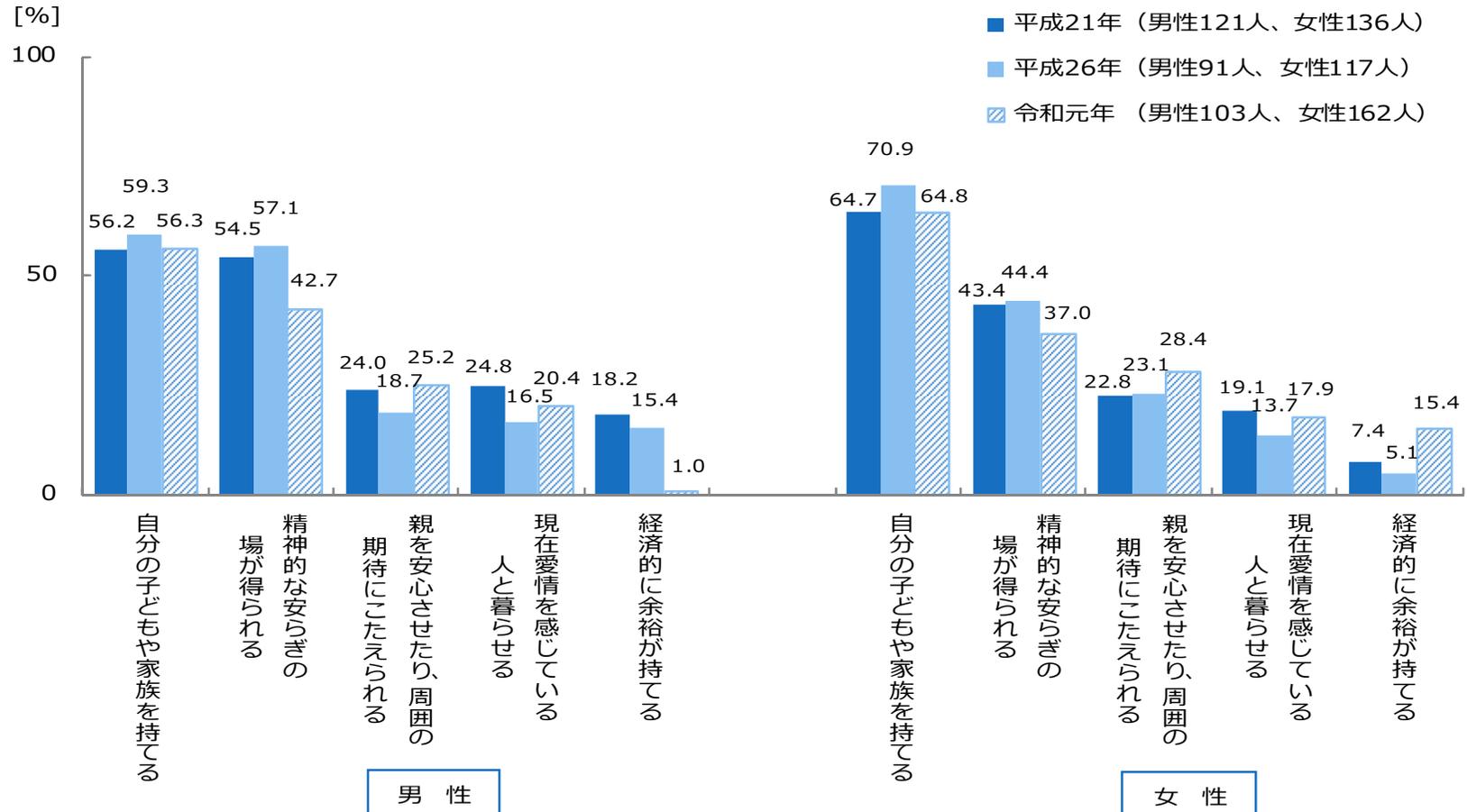
「結婚に良い点あり」男性では横ばいも、女性では減少



※集計対象: 20~34歳の独身者

3-4 結婚生活の良い点

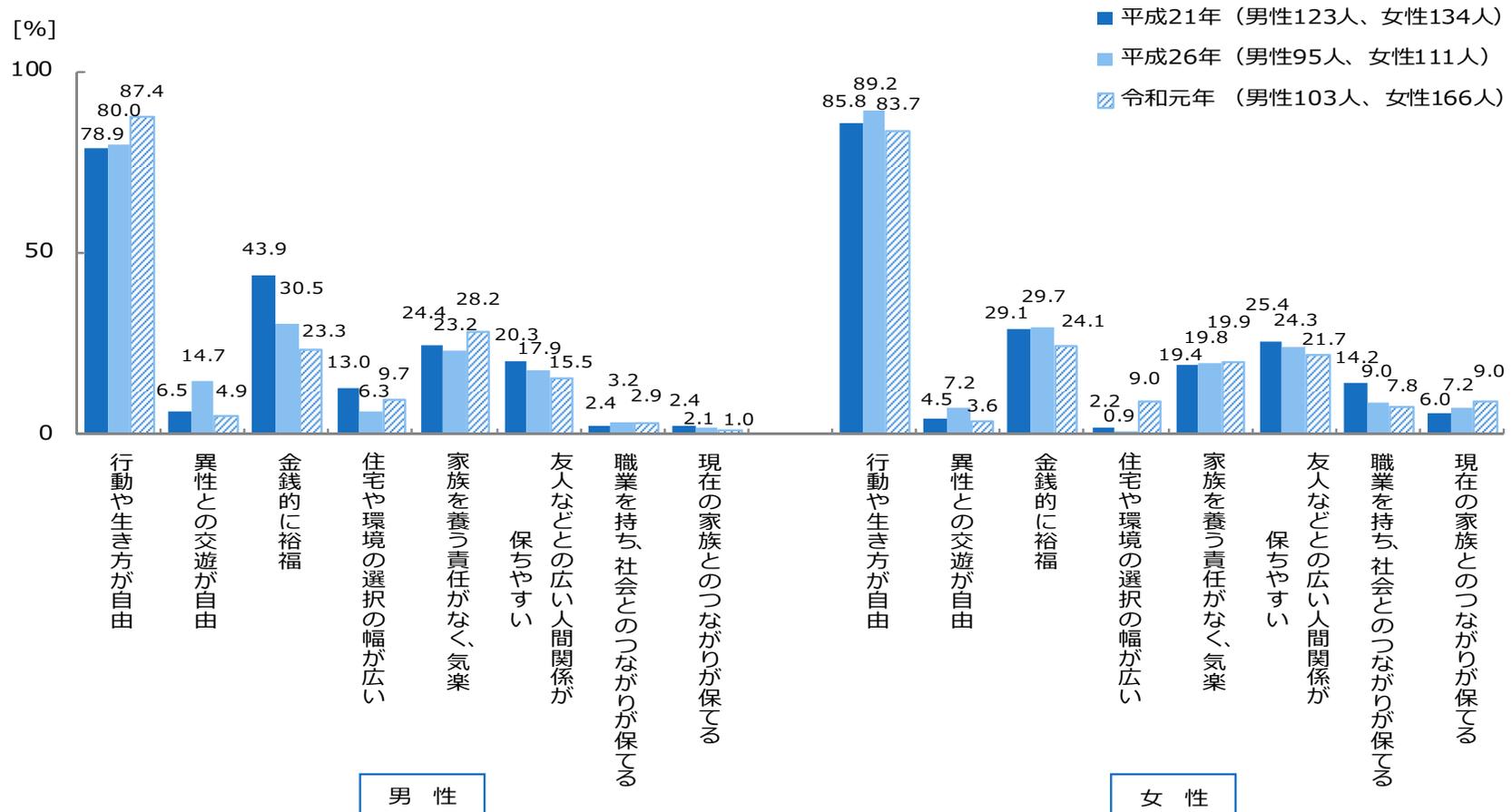
結婚生活の最大の魅力は「自分の子どもや家族を持てる」



※集計対象：20～34歳の独身者

3-5 独身生活の良い点

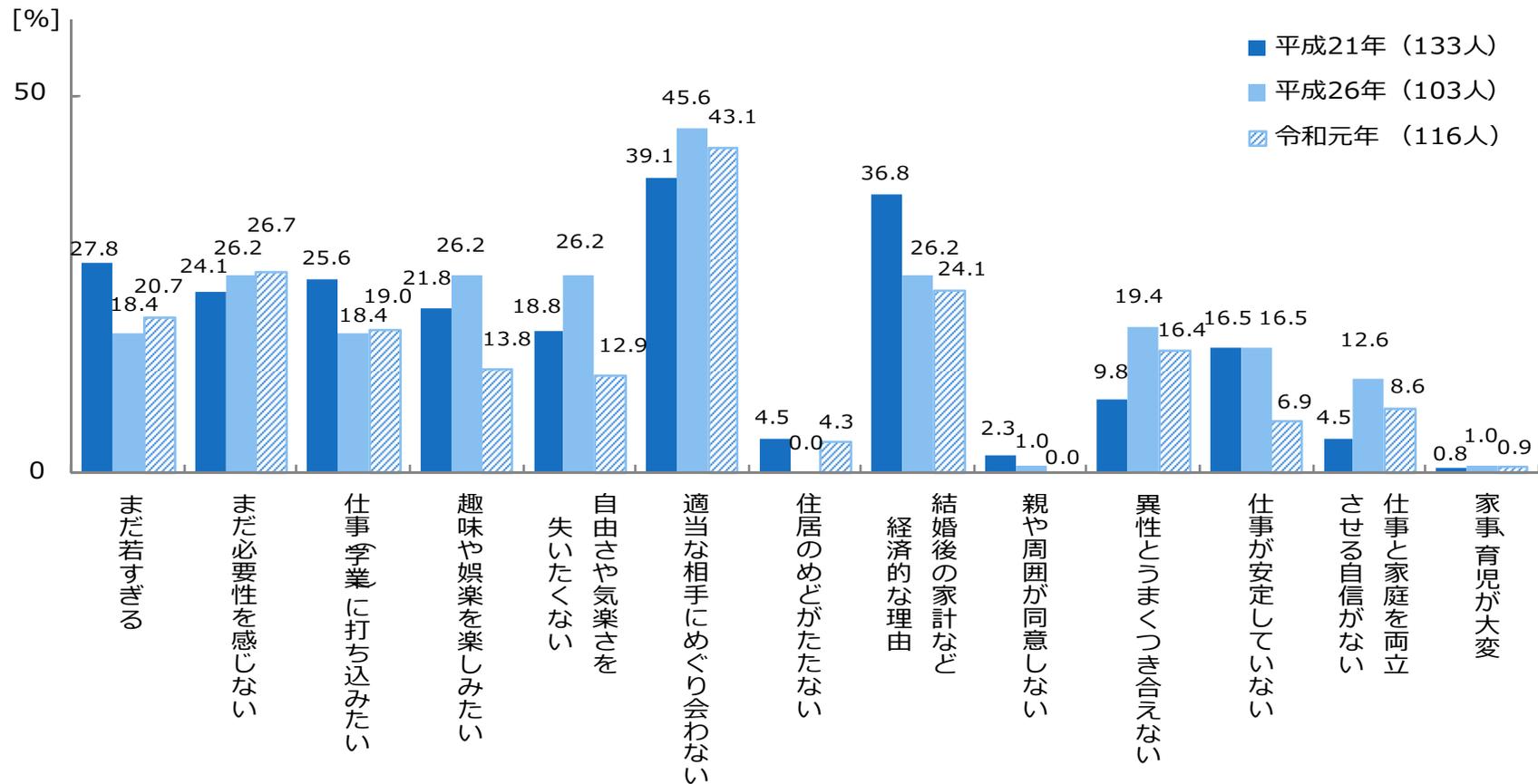
独身生活の最大の魅力は「行動や生き方が自由」



※集計対象: 20~34歳の独身者

3-6 独身にとどまっている理由(男性)

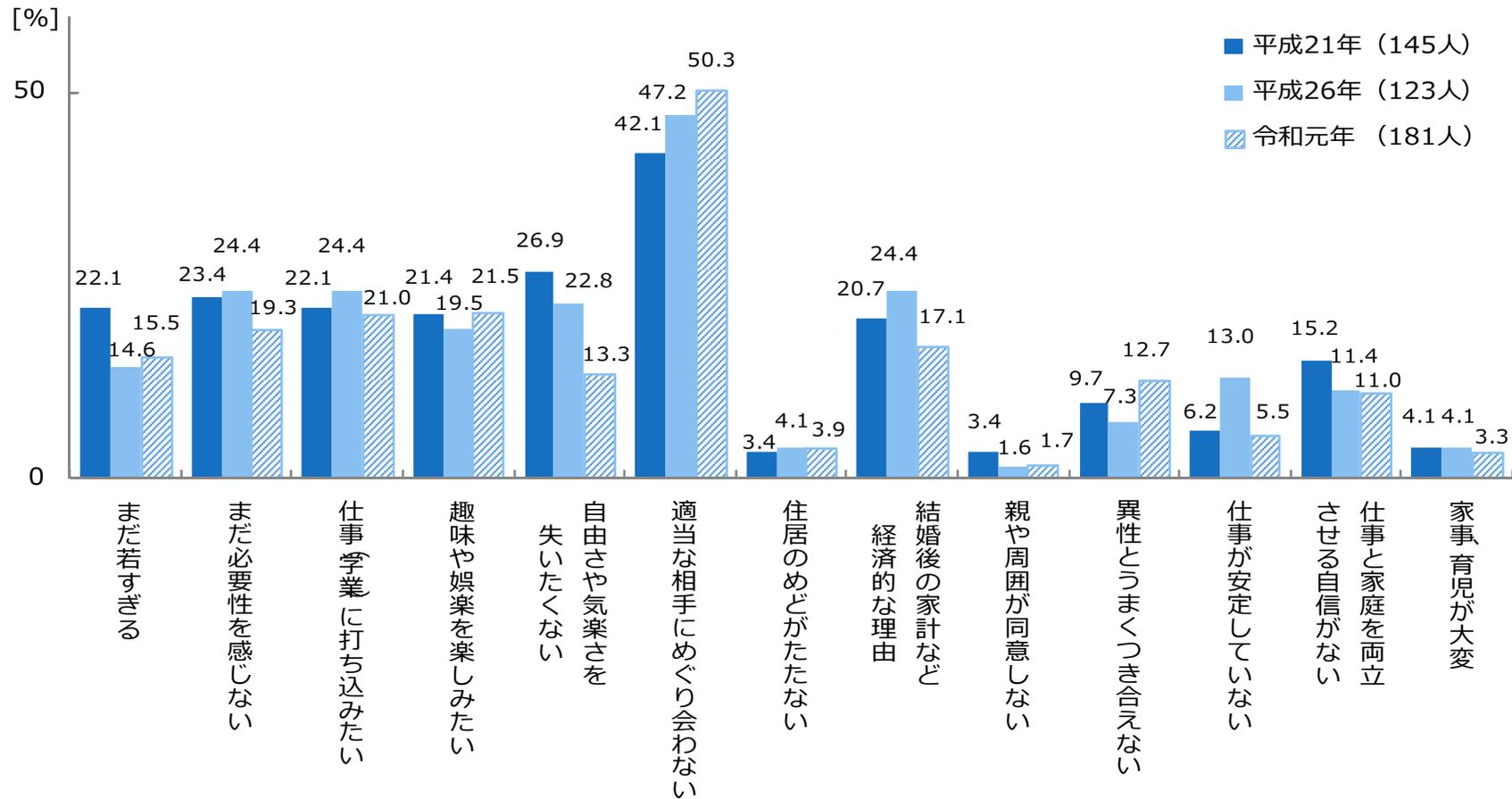
「適当な相手にめぐり合わない」が最も多い



※集計対象: 20~34歳の独身者

3-7 独身にとどまっている理由(女性)

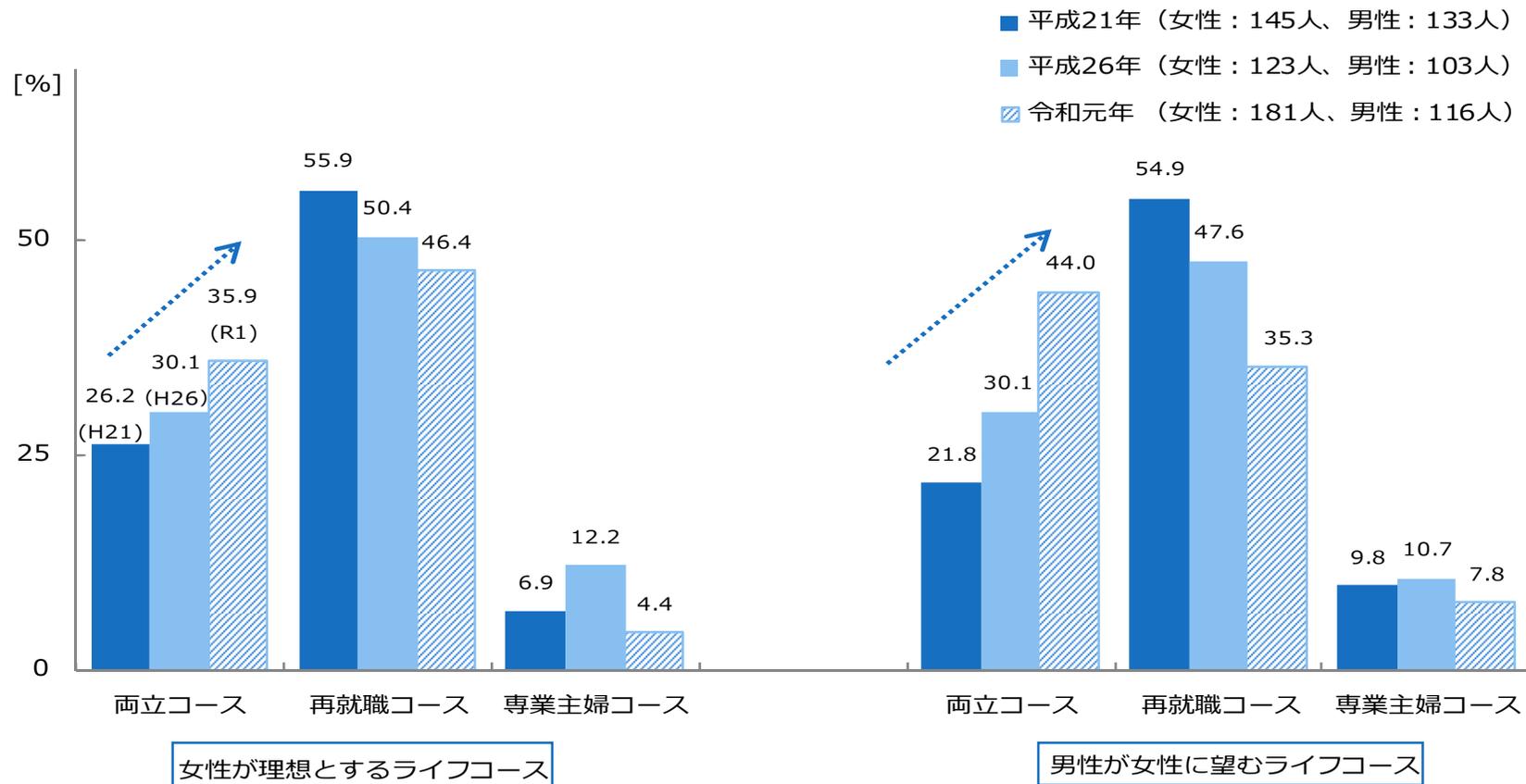
「適当な相手にめぐり合わない」が最も多い



※集計対象: 20~34歳の独身者

4-1 希望するライフコース

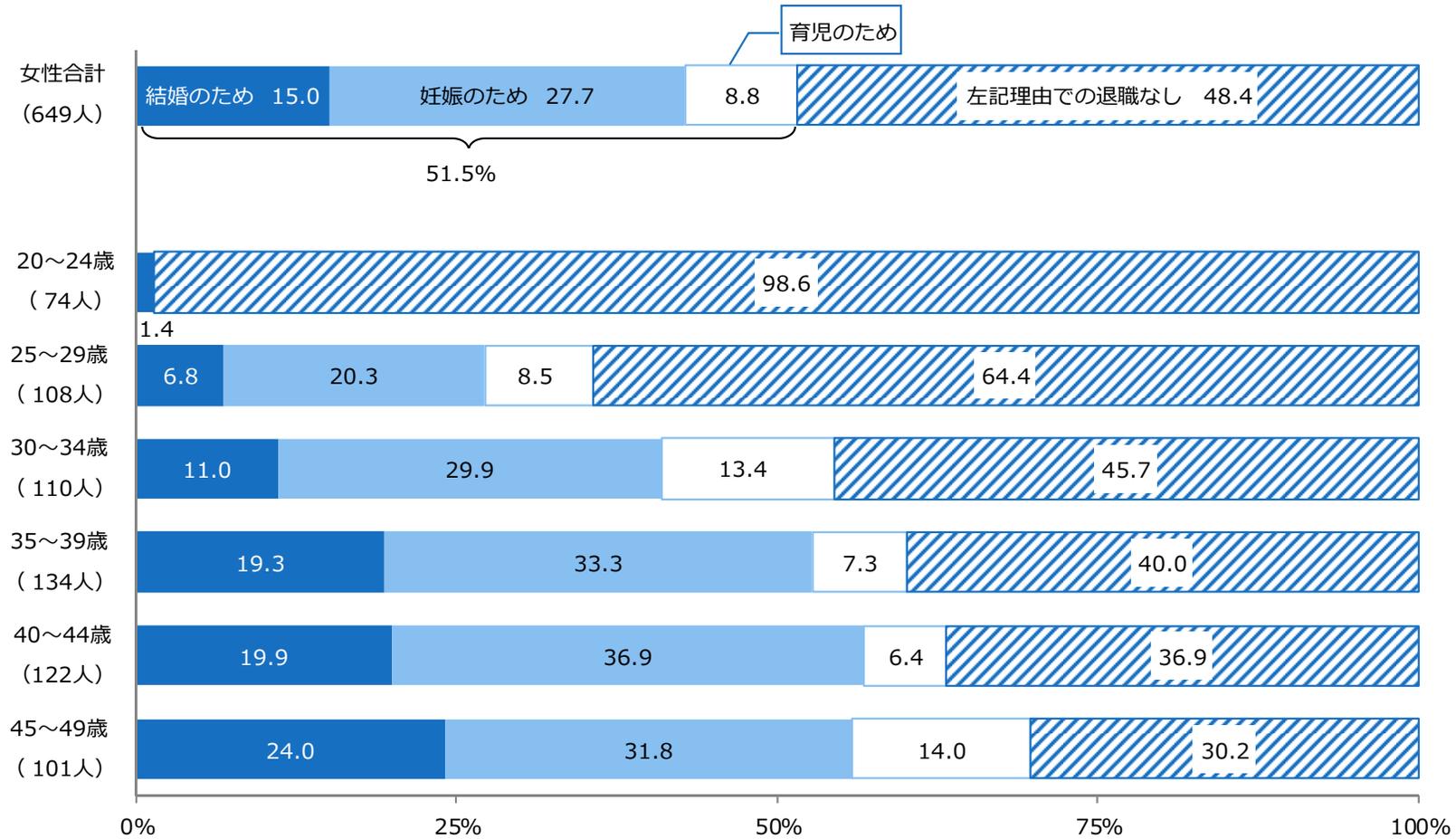
理想とする女性のライフコースは、再就職コースが最多、両立コースは増加傾向



※集計対象：20～34歳の独身者

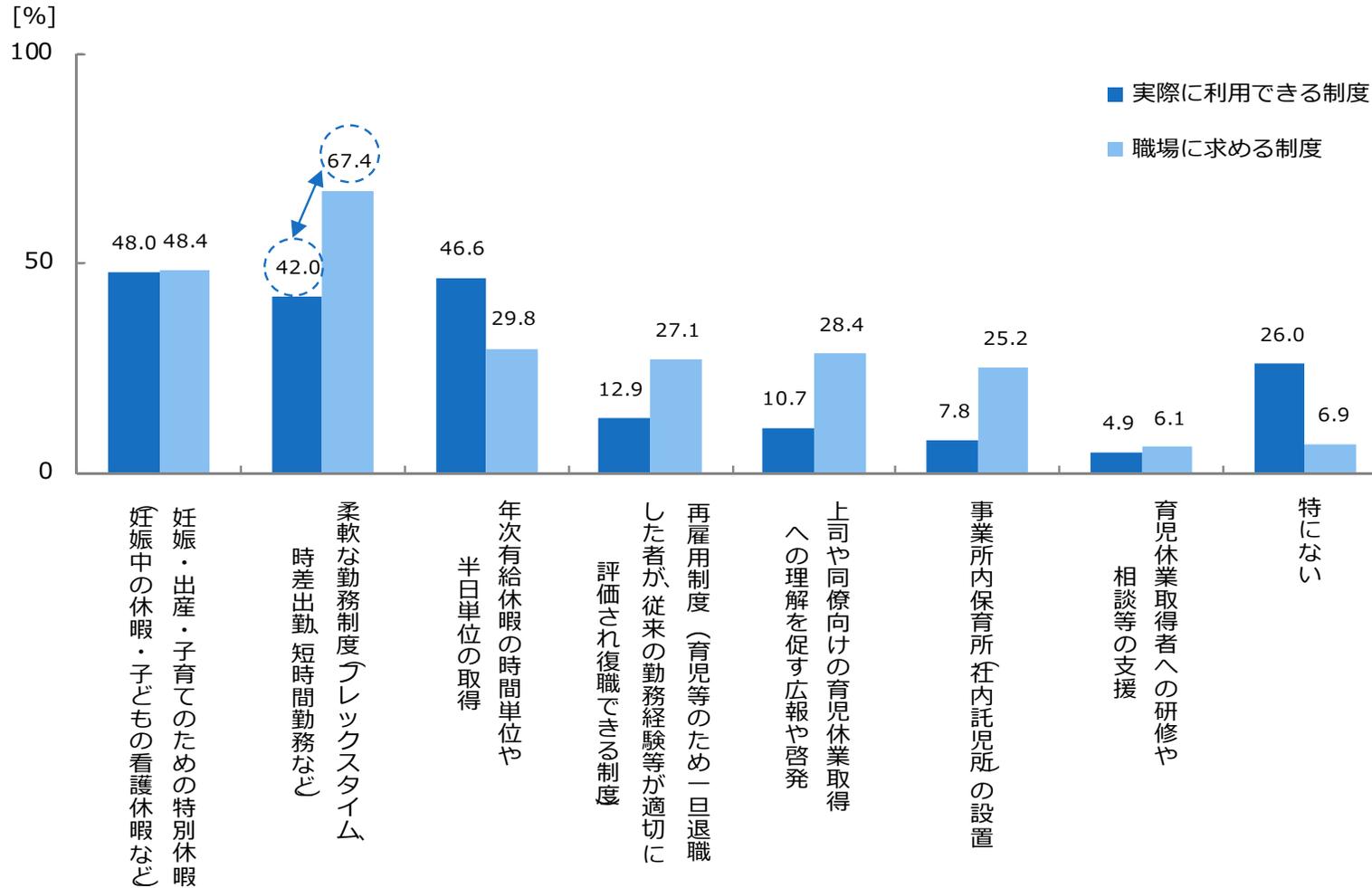
4-2 女性における結婚、妊娠・出産、育児による退職状況

結婚、妊娠・出産、育児により仕事(正社員)を辞めた経験がある女性は約5割



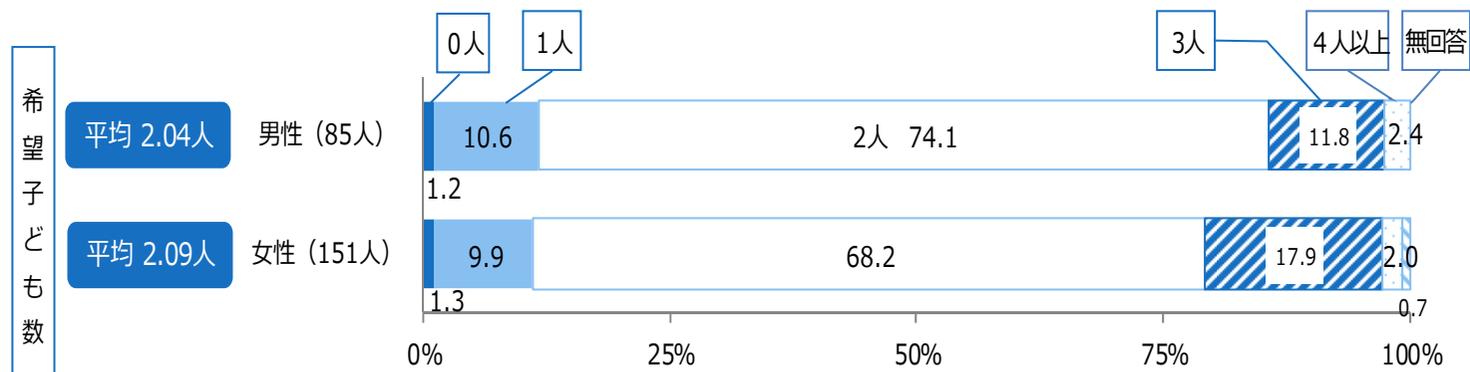
4-3 職場に求める出産・子育て支援の制度と実際に利用できる制度

差が大きいのは「柔軟な勤務制度」で25.4ポイント差



5-1 希望子ども数

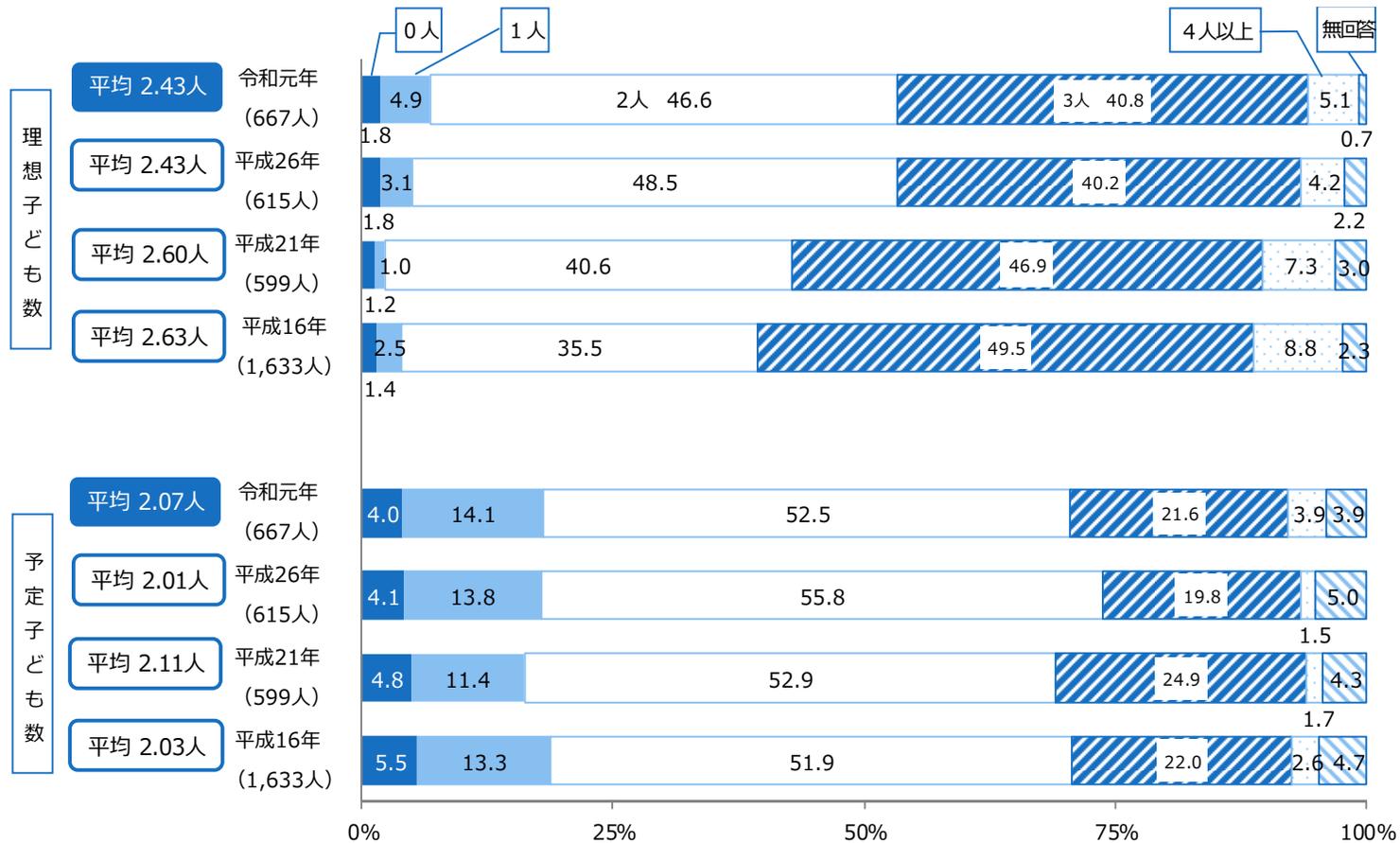
平均希望子ども数は、男性・女性ともに2人以上



※集計対象:20~34歳の独身者で、結婚する意思のある人。「4人以上」を「4人」とみなして計算。

5-2 理想子ども数・予定子ども数

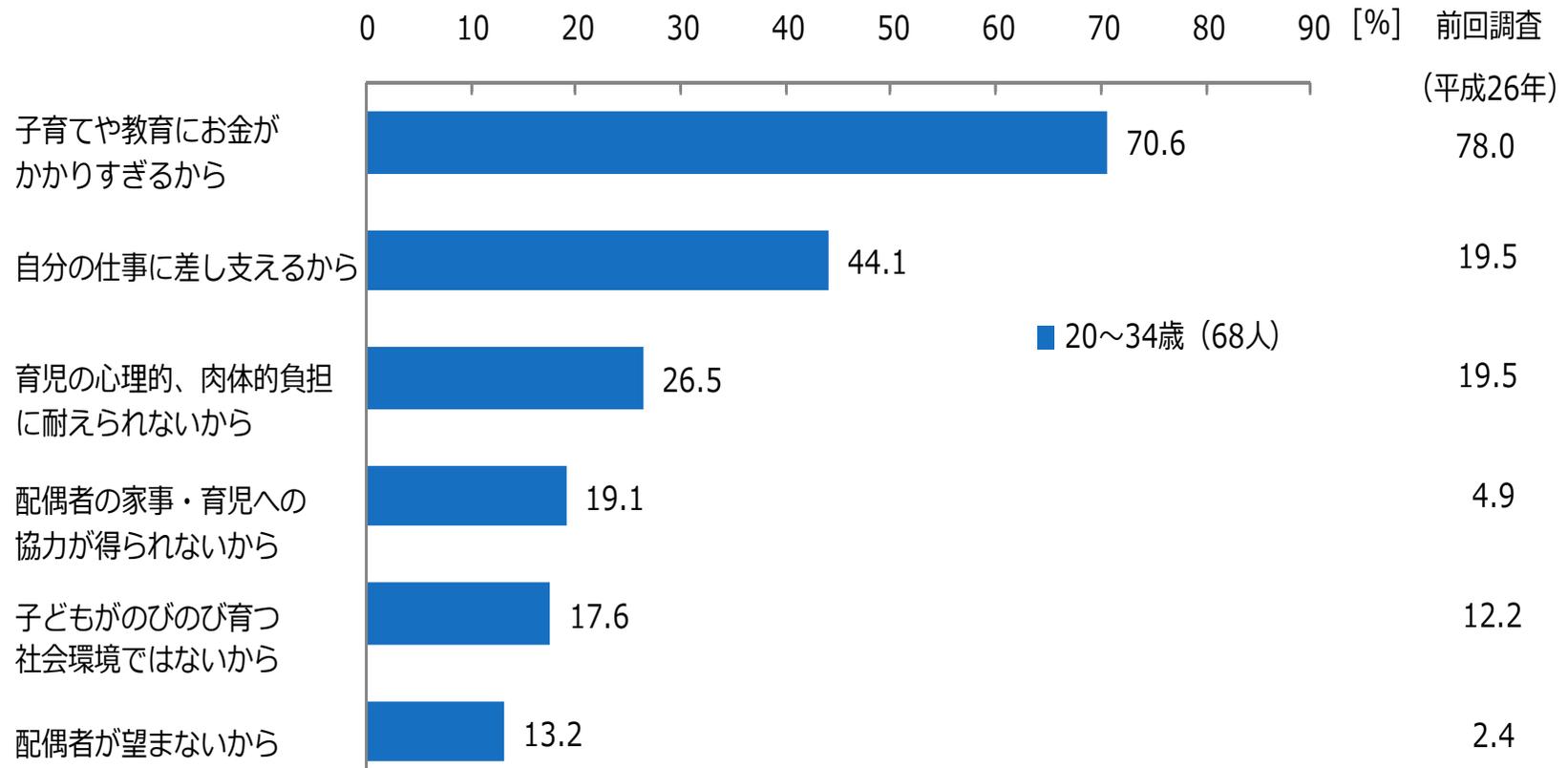
平均理想子ども数は2.43人、平均予定子ども数は2.07人



※集計対象:既婚者のみ。平均の理想・予定子ども数は「4人以上」を「4人」とみなして計算。

5-3 予定子ども数が理想を下回る理由(20~34歳)

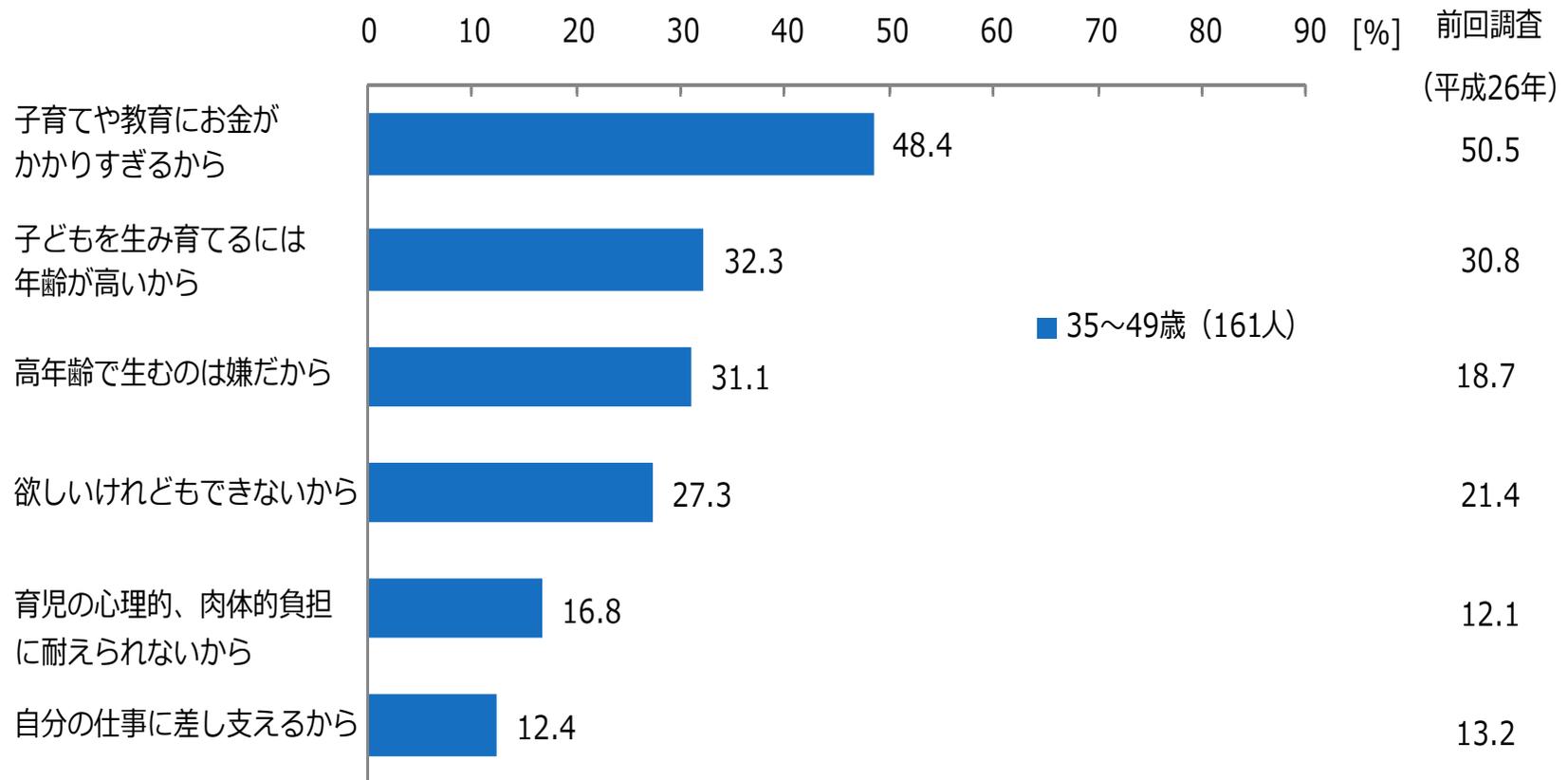
「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最多



※集計対象: 予定子ども数が理想子ども数を下回る人

5-4 予定子ども数が理想を下回る理由(35~49歳)

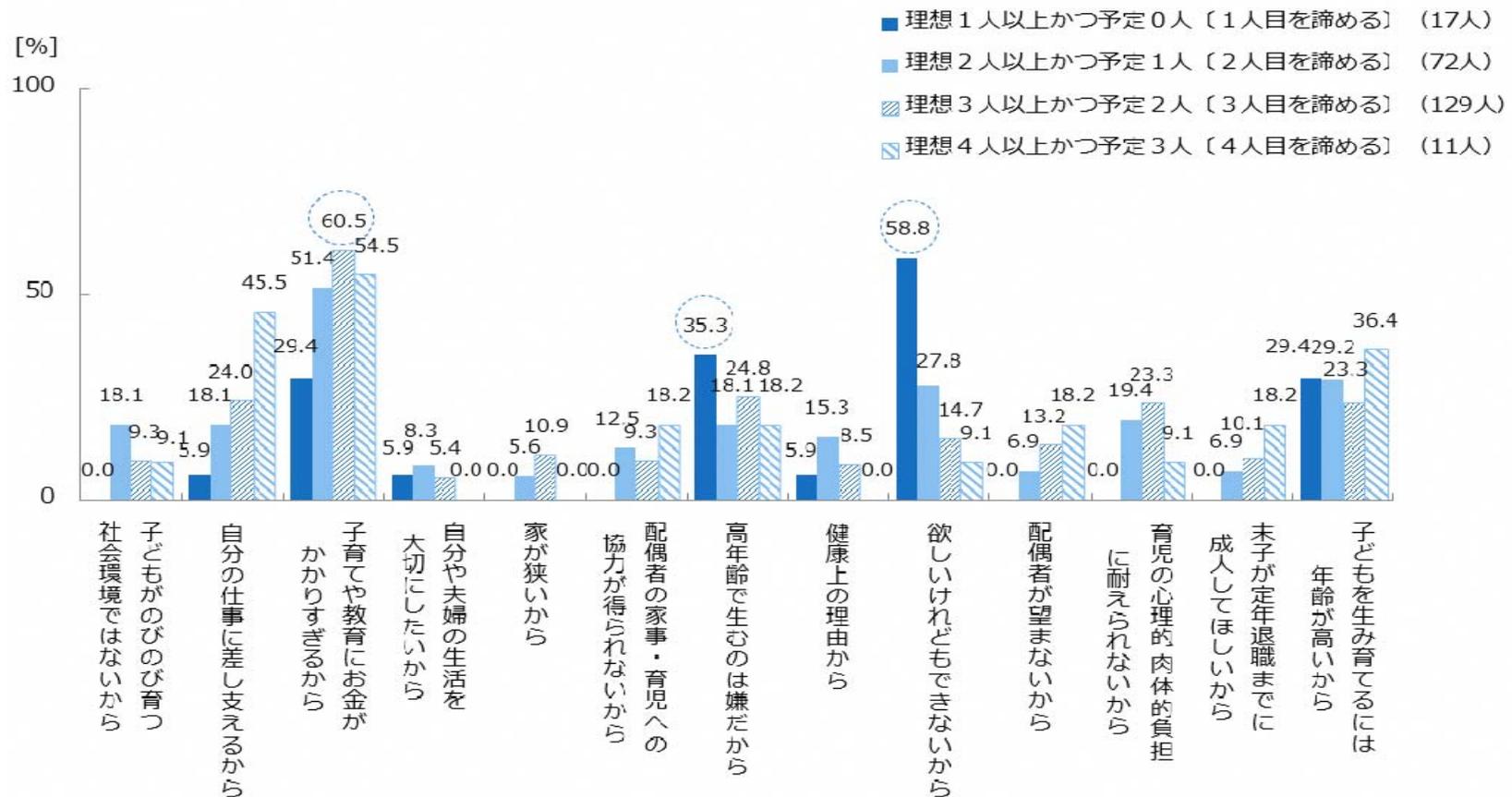
「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最多



※集計対象: 予定子ども数が理想子ども数を下回る人

5-5 諦める子ども数別の予定子ども数が理想を下回る理由

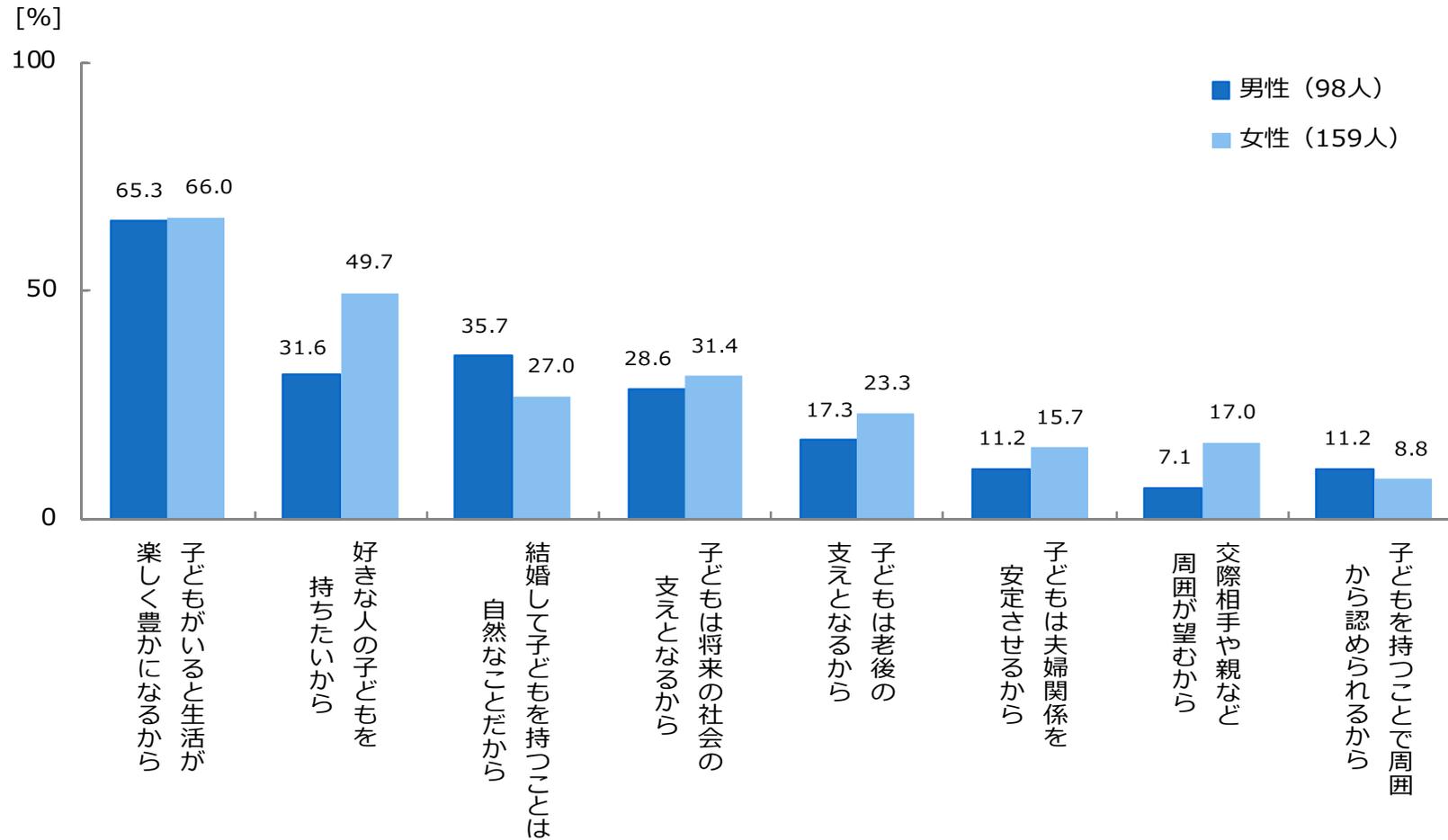
理想を諦める理由として、1人目は年齢・身体的理由、3人目は経済的理由



※集計対象：予定子ども数が理想子ども数を下回る人

5-6 子どもをほしいと思う理由

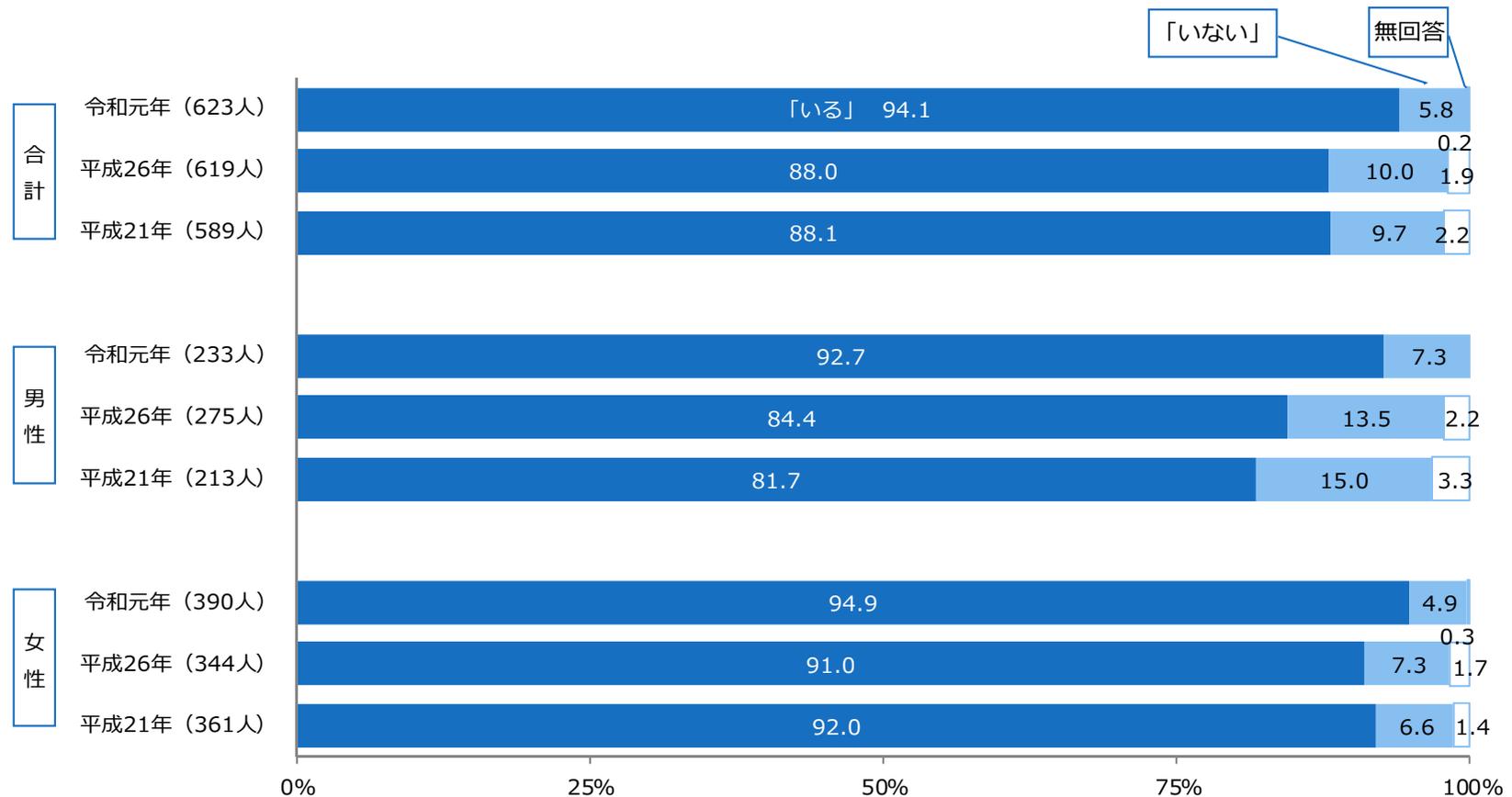
「子どもがいると生活が楽しく豊かになるから」が最多



※集計対象: 20~34歳の独身者かつ希望の子どもの人数が1人以上の人

6-1 子育ての相談や子どもを世話してくれる人の有無

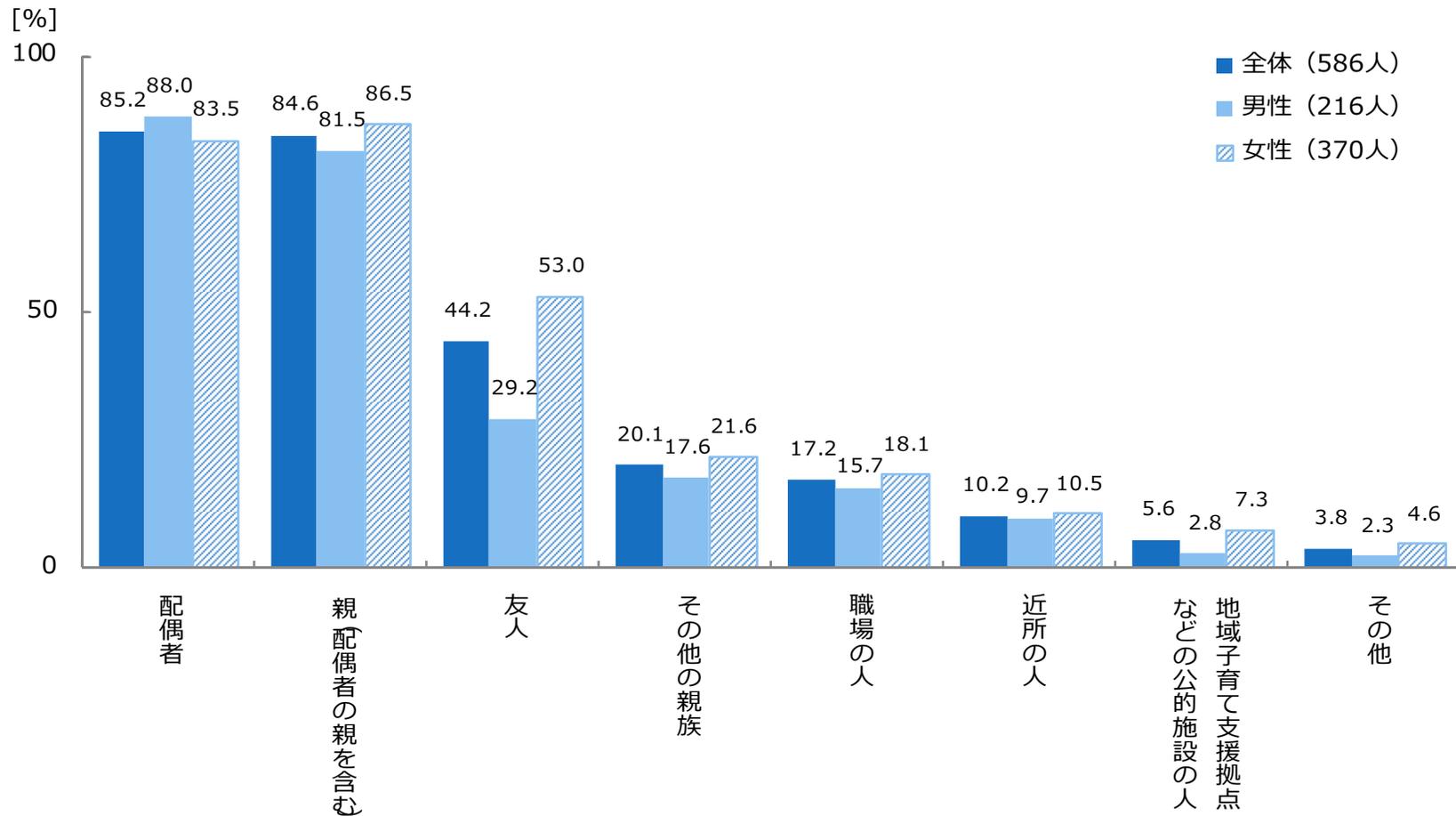
子育ての相談や子どもを世話してくれる人がいるとしたのは9割以上



※集計対象:子どものいる人

6-2 子育ての相談や子どもを世話してくれる人

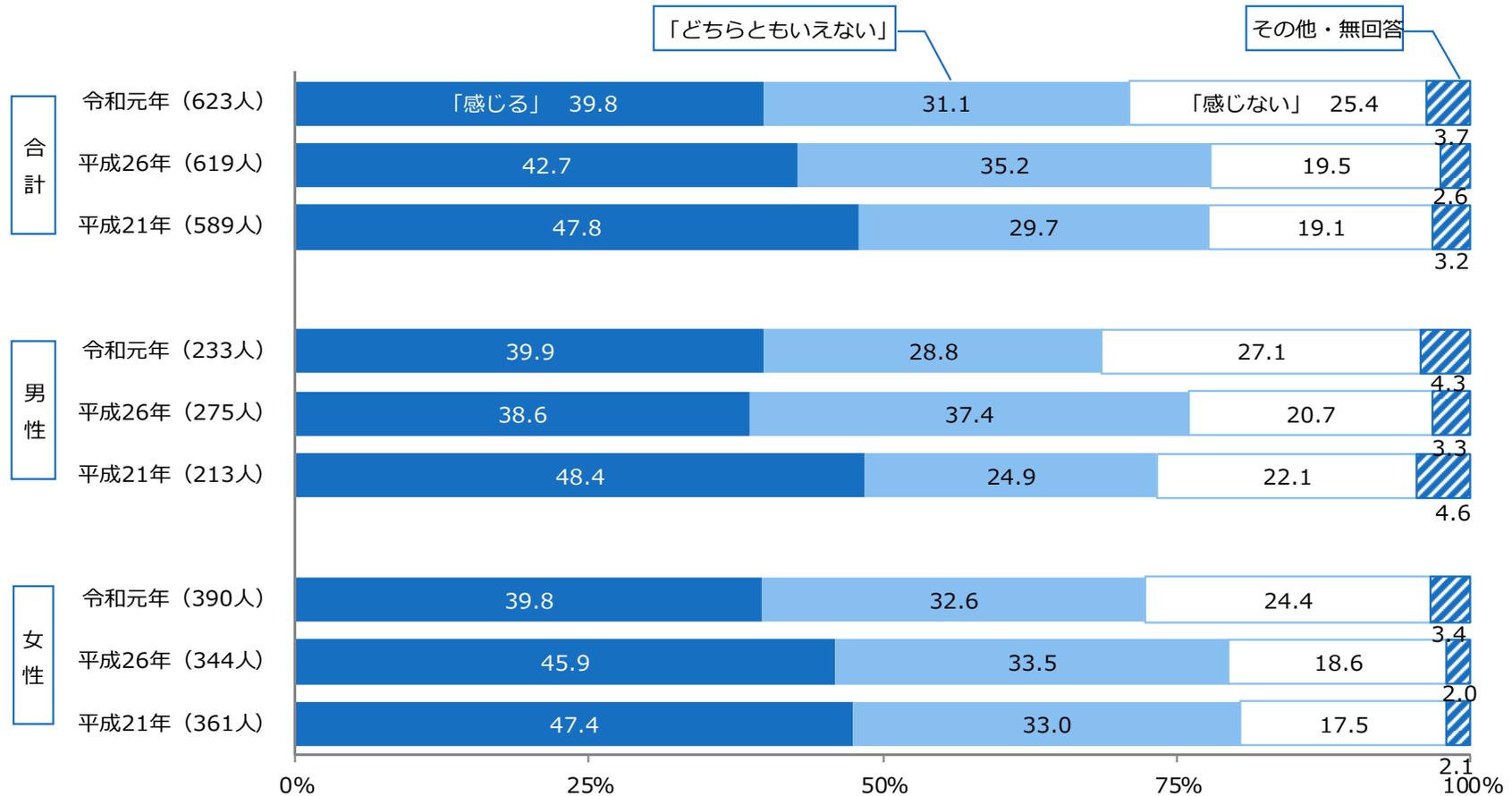
男性は「配偶者」、女性は「親(配偶者の親を含む)」が最多



※集計対象:子どものいる人

6-3 子育てに関する不安感・負担感

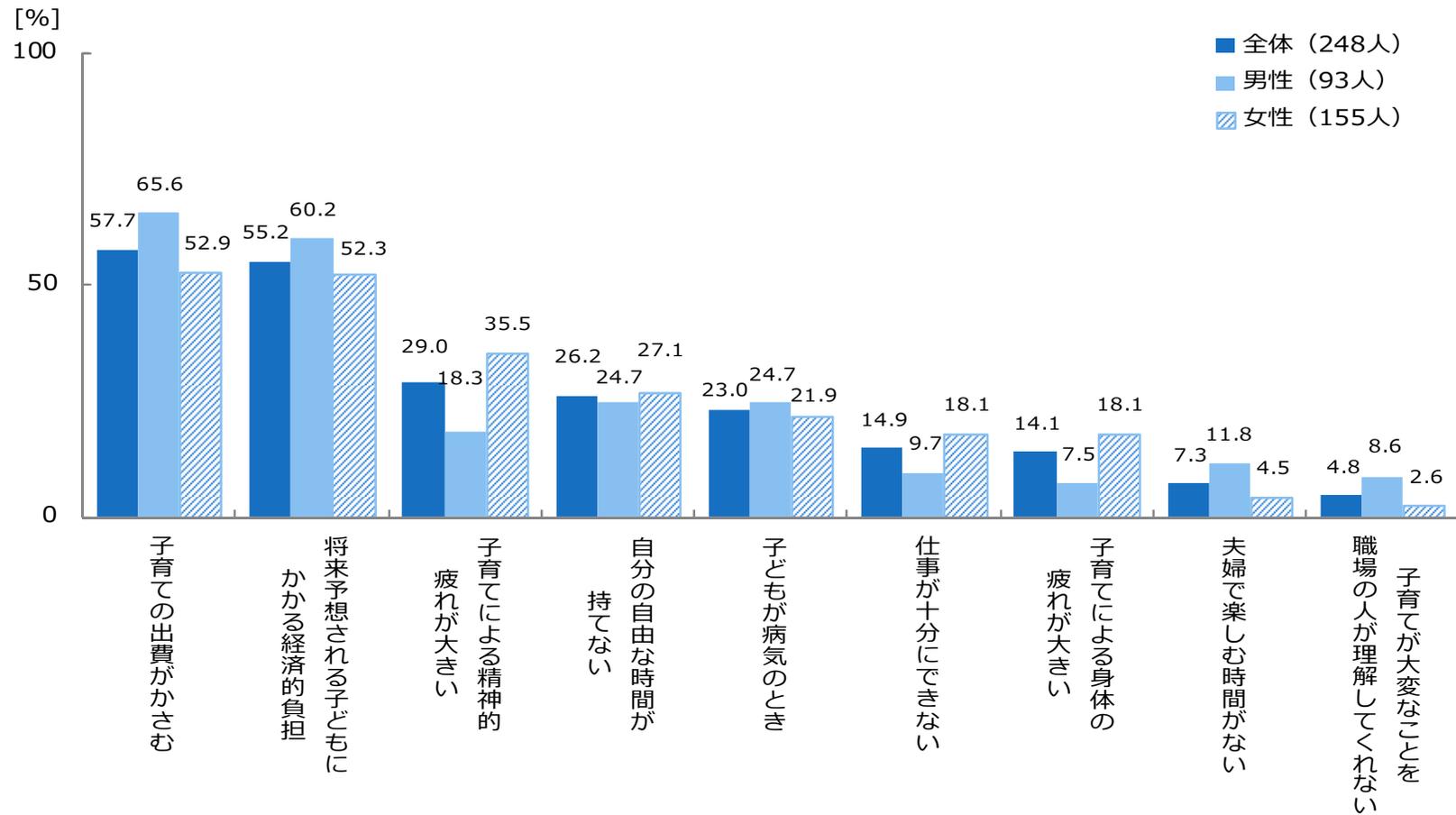
不安感・負担感を感じているのは約4割の水準、女性で減少傾向



※集計対象:子どものいる人

6-4 子育てに関する不安感・負担感の理由

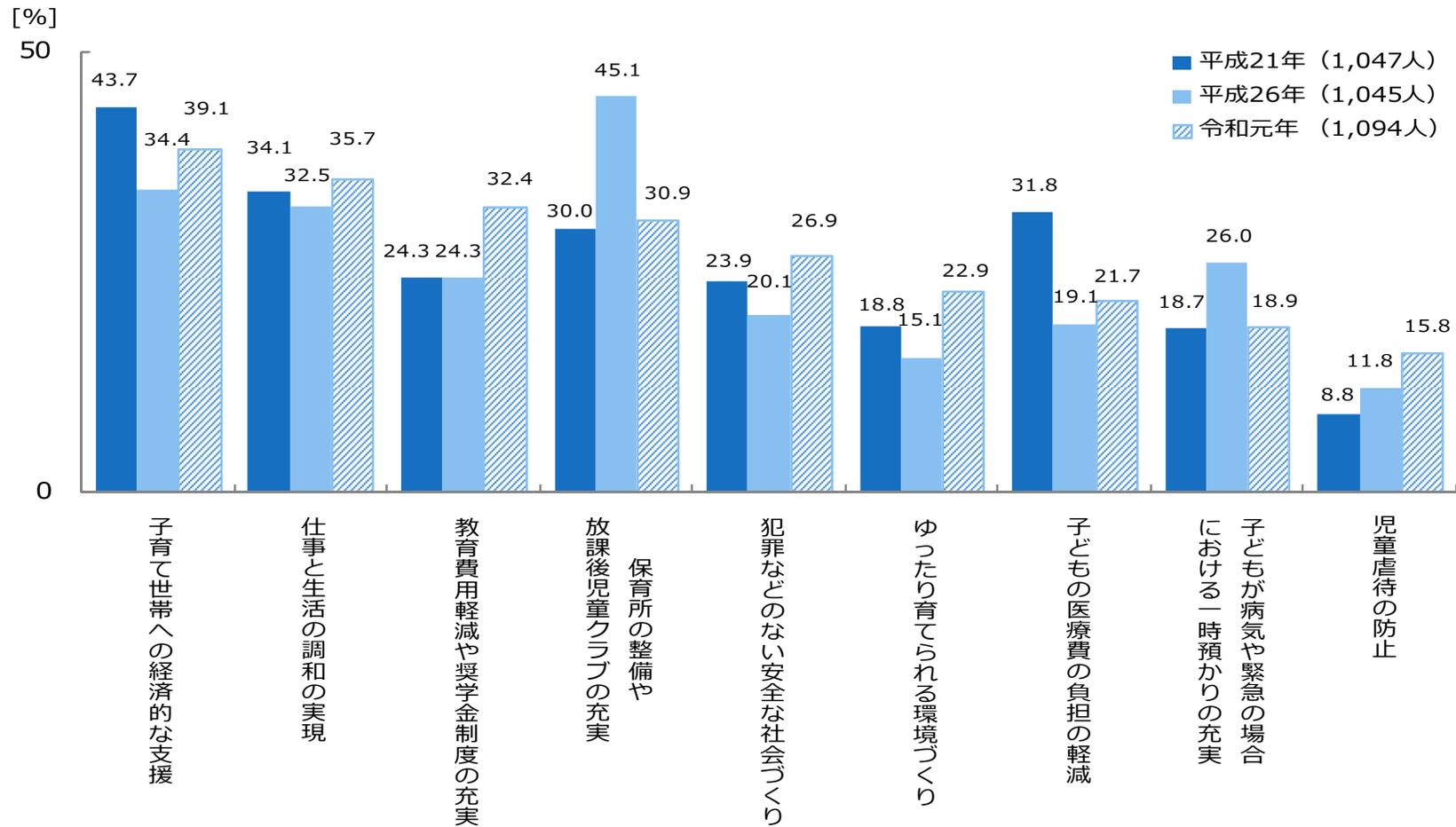
不安感・負担感の最大の理由は「経済的負担」



※集計対象: 子どものいる人

6-5 子育て支援として重要と思う施策

子育て世帯への経済的な支援が39.1%で最多



7-1 全国調査との比較①

女性のライフコースは、再就職コースが全国に比べて高い状態が継続

No.	項目		静岡県 (R1)	全国 (H27)
1	平均理想子ども数		2.43	2.32
2	平均予定子ども数		2.07	2.01
3	予定が理想を下回る理由 (20～49歳の既婚者)	1位	子育てや教育にお金がかかりすぎる (55.0%)	子育てや教育にお金がかかりすぎる (56.3%)
		2位	自分又は配偶者の年齢が高い (26.2%)	高年齢で生むのは嫌だから (39.8%)
4	平均希望子ども数		2.07	1.97
5	子どもを欲しいと 思う理由 (20～34歳の独身者)	1位	子どもがいると生活が楽しく豊かになる (65.8%)	子どもがいると生活が楽しく豊かになる (71.0%)
		2位	好きな人の子どもを持ちたい (42.8%)	好きな人の子どもを持ちたい (47.8%)
6	女性が理想とする ライフコース	両立コース	35.9%	32.3%
		再就職コース	46.4%	34.6%
		専業主婦コース	4.4%	18.2%
7	男性が女性に望む ライフコース	両立コース	44.0%	33.9%
		再就職コース	35.3%	37.4%
		専業主婦コース	7.8%	10.1%

※出典 全国数値：国立社会保障人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」

注釈 No1～3の対象者は、既婚者のみ、No4の対象者は、県では20～34歳、全国では18～34歳の独身者で、結婚する意思のある人。

No5～12の対象者は、県では20～34歳、全国では18～34歳の独身者

7-1 全国調査との比較②

「結婚に良い点あり」の割合は、全国に比べて高く、結婚に対する印象が良い

No.	項目		静岡県 (R1)		全国 (H27)	
8	結婚を希望する者 (34歳以下の独身者)	男性	73.3%		85.7%	
		女性	83.4%		89.3%	
9	結婚に良い点がある (34歳以下の独身者)	男性	88.8%		64.3%	
		女性	89.5%		77.8%	
10	結婚生活の 具体的な良い点	男性	1位	自分の子どもや家族を持てる (56.3%)	自分の子どもや家族を持てる (35.8%)	
			2位	精神的な安らぎの場が得られる (42.7%)	精神的な安らぎの場が得られる (31.1%)	
		女性	1位	自分の子どもや家族を持てる (64.8%)	自分の子どもや家族を持てる (49.8%)	
			2位	精神的な安らぎの場が得られる (37.0%)	精神的な安らぎの場が得られる (28.1%)	
11	独身に良い点がある	男性	88.8%		83.5%	
		女性	91.7%		88.7%	
12	独身生活の 具体的な良い点	男性	1位	行動や生き方が自由 (87.4%)	行動や生き方が自由 (69.7%)	
			2位	家族を養う責任がなく、気楽 (28.2%)	家族扶養の責任がなく気楽 (26.7%)	
		女性	1位	行動や生き方が自由 (83.7%)	行動や生き方が自由 (75.5%)	
			2位	金銭的に裕福 (24.1%)	広い友人関係を保ちやすい (25.8%)	

※出典 全国数値：国立社会保障人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」